

11/15

大村・東京間のパイプ役

平 成元年から東
京都千代田区

に設置している「大村市東京事務所」が、今年で25周年を迎えたことを記念して、東京都内で記念式典を開催しました。

式典には、これまで東京事務所の運営にご支援、ご協力いただいた関係者の皆さま約130人を招待し、盛大に祝いました。

引き続き行われた記念講演では、本市の顧問で、日本経済研究センター代表理事・会長の杉田亮毅氏を講



→大村市顧問の杉田亮毅氏にご講演いただきました。

←平成元年の設置から25周年を祝って、盛大に記念式典を開催。



師にお迎えし、「世界で活躍する人材を〜東京五輪で考える〜」と題してご講演いただきました。

大村市東京事務所は、中央とのパイプ役はもとより、本市の特色や魅力を発信する拠点として、企業誘致活動や観光PRなど、大きな役割と成果を果たしています。

来年度からは、事務所を移転するとともに、五島市と共同で事務所を開設し、機能の強化を図っていきます。

11/21

おむらんちゃんと一緒に空の旅を

大 村市マスコット
キャラクター「おむらんちゃん」をデザインした航空機「おむらんちゃん号」が就航し、長崎空港でセレモニーが行われました。

セレモニーには、松本市長をはじめ保育園児など関係者約80人が参加。発着した「おむらんちゃん号」の搭乗客に、記念グッズを配布しました。

「おむらんちゃん号」は、ソラシドエア（スカイネットアジア航空）が取り組んでいる地域振興プロジェクトの一環で、機



→桜馬場保育園の園児が、旗を振って就航をお祝いしてくれました。

←機体後部の両側に、おむらんちゃんの大サイズイラストを配置。



体の3か所に大型イラストを配置。機内にも本市を紹介した機内誌の設置、ヘッドレストカバーやキャビンアテンダントのエプロンにおむらんちゃんをデザインするなど、大村をPRしています。

これから1年間、国内の8路線で、1日に約7便を運航します。長崎空港に到着した際は、展望デッキから眺めることができます。



↑大村市を紹介した機内誌

12/5~7

日本の伝統に触れ、楽しく交流

外 務省が実施しているアジア大

洋州諸国の青少年交流事業（通称ジェネシスの一環で、アセアン10か国やオーストラリア、ニュージーランド、東ティモールの高校生、大学生が来日し、九州で唯一本市を訪問しました。

これは、来日外国人の増加を図るため、学生の皆さんに、日本の魅力を味わっていただきながら、日本に対する理解や関心を深めてもらうため、約360人の学生が国内の9都市に



→三城保育所の園児たちが、手づくり国旗を振ってお出迎え。

←シユシユで行われた交流会では蛇踊りが披露され、学生は興味津々。



分かれ、それぞれの地で交流を行いました。

長崎空港では、歓迎セレモニーが行われ、三城保育所の園児たちがお出迎え。翌日には、松本市長を表敬訪問しました。

今回訪問した39人の学生らは、2泊3日の行程で、市内の専門学校視察や企業訪問、伝統文化体験、市民との交流会、農家民泊など、さまざまな体験を行いながら市民との交流を深めました。

ジェネシス事業参加学生が大村市を訪問

江ノ串トンネル貫通式



平 成24年1月から工事が進められていた、東彼杵町と武留路町を結ぶ「江ノ串トンネル」(全長1,351メートル)が貫通し、トンネル坑内で貫通式が行われました。

式には、小野副市長をはじめ、渡邊悟東彼杵町長や地元選出の県議会議員、各市・町議会議員、関係機関、地元関係者など、約120人が参加し、トンネル工事の貫通を祝いました。

市内には、8つのトンネルが建設される予定で、江ノ串トンネルは鈴田トンネルに次いで2本目の貫通となりました。

11/12 市・町境の「江ノ串トンネル」が貫通

大村市顧問会議及び大学誘致戦略会議合同意見交換会



東 京都市内で、大村市にゆかりがあり、各界のトップで活躍されている大村市顧問の皆さまとの会議を行いました。

今回は、大学誘致戦略の方向性を議論するため、来年度から新たに設置する「大学誘致戦略会議」との合同で会議を行い、大学誘致を含めた市の主要施策について報告した後、顧問の皆さまや大学誘致戦略会議委員の皆さまから、いろいろな意見や提言をいただきました。

11/14 市政への提言

新幹線新大村駅(仮称)周辺地域まちづくり計画策定委員会中間報告



新 幹線新大村駅(仮称)周辺地域のまちづくりを考えるための「第4回まちづくり計画策定委員会」を、市コミセンで行いました。

今回は、同委員会が10月に実施したアンケート調査の結果をもとに、新大村駅前周辺の機能配置などについて協議が行われたほか、これまでの協議内容をまとめ、松本市長に対し「中間報告」として提出しました。

委員会の様子は般公開して、どなたでも傍聴することができま。次回(第5回)は、1月下旬に開催する予定です。

12/4 協議内容をまとめ中間報告

★**大学誘致戦略の展開**

大学誘致による研究学園都市は、今から30年以上前、私が県議時代からの構想です。当時「大村市への大学誘致は無理」という周囲の意見もありましたが、平成21年度には、市内初の4年生大学「活水大学看護学部」の誘致に成功しました。

私は、大学を大村市に誘致するだけでなく、大学を中心とした「街」、いわゆる「ユニバーシティ・タウン」を目指しています。そのため、大学運営に関する各界の有識者を集めた「大学誘致戦略会議」を設置し、大学誘致の実現に向けた具体的な都市戦略を始動し、ここ1、2年の内には、ぜひ、具体的な方向性を示したいと思えます。

★**国道34号大村く諫早間の早期事業化**

長年の懸案であった国道34号大村与崎交差点く諫早本野人口交差点間4.9kmの整備については、昨年の10月に「早期整備を目指すシンポジウム」を開催し、中村県知事をはじめ、本県出身の国會議員など多数が参加し、おおいに盛り上がりま。現在国は、事業化に向けた計画段階評価の準備を進めており、今年、平成27年度の早期事業化に向けていよいよ勝負の年となります。今後も官民体となり更なる機運づくりや要望活動を進めてまいります。

★**長崎がんばらんぼ国体の成功**

今年、2014年は大村市にとって大きな飛躍の年となります。今年、45年ぶり、そして本県では2回目の第69回国民体育大会が開催されます。前回、昭和44年の国体では、本市の当時の人口は約5万6千人で正式競技が2競技でしたが、今回は、人口が約9万4千人で正式競技を6競技開催することから、国体の開催は、大村市がまた一段と躍進する絶好の機会です。大村の歴史や食などの魅力を全国に発信するとともに、ボランティア活動や市民の皆さんのスポーツへの関心と健康づくりにつなげていくため、「熱く燃えよう大村から」を合言葉に、「おもてなしの心」で市民一丸となつて、大成功の大会としましょう。



今年にかけの柱

市長コラム vol.29